

平成23年 第1回京丹後市教育委員会会議録

- 1 開催年月日 平成23年1月4日(火)
開会 午後1時00分 閉会 午後1時58分
- 2 場 所 大宮庁舎4階 第5会議室
- 3 出席委員名 上羽敏夫、文珠清道、森益美、小松慶三、米田敦弘
- 4 欠席委員名 なし
- 5 説明者 教育次長 吉岡喜代和、教育理事 高橋忠彰、教育総務課長 糸井嘉彦、
学校教育課長 藤村信行、社会教育課長 安達忠行、文化財保護課長
吉田誠、総括指導主事 後藤幸雄
- 6 書 記 教育総務課長補佐 味田伸一
- 7 議 事
 - (1) 議案第1号 京丹後市学校再配置基本計画実施方針(案)について
 - (2) 議案第2号 平成22年度京都府学校文化・芸術祭―第42回教育美術展覧会北部展覧会に係る後援について
- 8 その他
 - (1) 諸報告
 - ① 「共催」・「後援」申請に係る12月期承認について
 - (2) 各課報告
 - <教育総務課>
 - ① 平成23年度学校施設耐震化工事等について
 - <学校教育課>
 - ① 1月学校行事予定について
 - <社会教育課>
 - ① 第15回峰山ドッジボール大会について
 - ② 平成22年度京丹後市公民館連絡協議会第2回研修会について
 - ③ 第26回国民文化祭・京都2011文芸祭 小町ろまん短歌第5回企画委員会について
 - ④ 2011ウエスタンリーグ開催実行委員会総会について

⑤ 平成23年成人式について

<文化財保護課>

① 小町ろまん『短歌大会』 歴史散策の計画について

(3) その他

9 会 議 録 別添のとおり (全8頁)

10 会議録署名

別添の会議録は書記が記載したものであり、別添記載の正確であることを認めここに署名する。

平成23年2月9日

委員長 上羽 敏夫

署名委員 文珠 清道

〔招 集 者〕 京丹後市教育委員会委員長 上羽敏夫

〔被招集者〕 文珠清道、森益美、小松慶三、米田敦弘

〔説 明 者〕 教育次長 吉岡喜代和、教育理事 高橋忠彰、教育総務課長 糸井嘉彦、
社会教育課長 安達忠行、文化財保護課長 吉田誠、総括指導主事 後藤幸雄

〔書 記〕 教育総務課長補佐 味田伸一

〈上羽委員長〉

ただ今から「平成23年第1回京丹後市教育委員会1月定例会」を開会致します。

皆様、明けましておめでとうございます。

昨年のご協力を頂き有難うございました。

新春を迎え、宇宙は生と死が表裏一体であることをあらためて認識を致しました。生命があふれる地球と対照的に暗黒の空間である宇宙は死の世界であるとの思いからです。その宇宙に人類がロケットを送り探索する意義はどこにあるのだろうかと考えるとき、ある人が「人類が生き延びる可能性を模索することにある」と言われておりました。大変意味の深い言葉だと思って感心しました。希望のない未来はあり得ません。お互いに夢を共有し頑張りましょう。

本年も公正、公平をモットーに愚直に活動したいと考えておりますので宜しくお願いします。

委員長としての行事出席等につきましては、12月4日大宮アグリセンターで与謝・丹後ブロックの研修会へ、9日と10日そして13日は市議会の本会議であり出席をいたしました。27日は臨時教育委員会を開催させて頂きました。

本日の議案は2件でございます。委員各位の活発なご議論をお願いしまして開会のご挨拶と報告とさせていただきます。

次に米田教育長から、平成22年第18回教育委員会定例会開催後の諸会議、行事等を中心に、教育長報告をお願い致します。

〈米田教育長〉

皆さん、改めまして、明けましておめでとうございます。平成23年第1回の教育委員会定例会を全員ご出席いただいて開催できますことを、大変嬉しく思っております。ご存知のように、先月末の議会で再配置計画が一部修正はされましたけれども可決をしていただきました。いよいよ本腰を入れて、今までも本腰を入れておったわけけれども、更に前進をして取り組むという大きなお年玉も持っております。このお年玉を生かすか生かさなにか私たちの姿勢にもかかっておりますので、それぞれ頑張っていきたいと思っております。

この後教育委員会職員、その後に校舎長会の新年の式があります。その時に私は、職員にはそれぞれの部署・課で特色を出した取り組みをしてほしいということを言いたいと思っています。今までどおりのことを踏襲するのではなく、工夫をしていく、これは再配置の問題が中心になるわけですが、地域が寂れるという声をたくさん聞きます。本当に学校

があれば地域は寂れないのか、学校があっても寂れている地域はたくさんある。そうした中で、何を教育委員会として仕組んでいかなければならないかということに頭をおいて考えていこうと。そのためには市民に心が伝わる、いわゆる気持ちが見える、それから教育委員会の動きの見える、そのようなことに重点を置いていかなければならないということを中心に話をしようと思っています。校園長には、今までに京丹後市でもなかったと思いますが、一度に4人も生徒が逮捕されるというような事象も起こりました。逮捕までには至らないけれども、よく似た事象は他にもたくさんございます。そうした意味で、特に1、2、3月の3学期の間は信頼回復に全力を注ぎたいと思います。ただし、「信頼回復」というのも何かというと、やはりこうした事象の背景には、学校の取り組みの甘さがないか、中学校の該当校は当然ですし、いろいろと聞いていますと、小学校の時にも兆しがあったということです。それを小学校だからと言って見過ごしていた点はないか。そういった点で、お互いに厳しく学校の在り方を見直してやっていこうと思っています。

それからもう一つ、学校の再配置が本格的に進む年であります。自分自身が廃校になる学校の校長なら、また拠点校になるところの校長なら、そういった場合何が必要かということ、それぞれが自分自身のこととして考えてほしいということをお願いしていきたく思います。私たち事務局職員も、これはすごい計画だということで自信を持って考えを貫いていきたくと思っています。今年もまた叱咤激励いただきながら応援していただきたいと思っています。

それでは定例会ですので、昨日までの教育長動静を説明します。

「平成22年12月動静表」朗読説明

<上羽委員長>

ただ今の教育長報告について、ご質問等ありましたらお願いします。

次に会議録の承認を行います。平成22年第18回の署名委員は森委員です。会議録については、すでにお手元に送付しておりますが、原案のとおり承認してよろしいですか。

<全委員>

了承。

<上羽委員長>

原案どおり承認致します。

<上羽委員長>

本日の会議録署名委員の指名を致します。

文珠委員を指名しますのでお願いします。

それでは、お手元の会議次第にそって議事を進めさせていただきます。

<上羽委員長>

議案第1号「京丹後市学校再配置基本計画実施方針（案）について」を議題とします。

米田教育長から提案理由の説明をお願いします。

<米田教育長>

先ほどから申し上げておりますように、学校再配置の基本計画が一部修正をされて可決されました。今後はこれにのっとなって進めることになるわけですが、いわゆる実施計画が削除ということで表からは抜け落ちることになりました。

まず前期・後期については、言葉は生きております。ところが、前期・後期をまとめてしますと、5年を超えますので、前期の4年に絞っての計画をしました。今から次長のほうから説明いたしますが、これを見ていただいて分かりますように、複式学級ができる学校、それから中学校で学級が単数のところ、いわゆる複数の学級がない学校、それから小学校が11、中学校が2、合計13の学校にわたります。この13の学校を前期の間にやっていくという非常に壮大な計画になります。本当に職員も関係者も一致団結して取り組まなければとても進むような事業ではないと思っています。そうした意味で、私たちも精根を入れて取りかかりたいと思っていますし、ご支援をよろしくお願ひしたいと思っています。

それでは教育次長から内容について説明いたします。

<吉岡教育次長>

補足で説明させていただきます。ただ今の教育長の説明と重なるところがあると思いますが、よろしくお願ひいたします。

昨年の12月27日の教育委員会議でこの件につきましては承認いただきましたので、それに基づきまして実施方針を定めることとするものです。

今回実施方針につきましては、平成23年度から26年度までの4年間として定めさせていただきます。それでは具体的に町域ごとの内容を説明させていただきます。

まず峰山町域ですが、中学校の再配置の計画は無く、小学校につきましては五箇小学校の再配置を後期計画期間内に行うのみとなっておりますので、今回の実施方針では定めはしません。続きまして、大宮町域ですが、中学校の再配置の計画はありませんが、従前どおり大宮第三小学校を複式学級の編制が見込まれます平成25年度に大宮第二小学校に再配置をすることとします。続いて網野町域ですが、中学校は橘中学校を平成27年度以降としているため、今回の実施方針からは除かせていただきます。小学校は既に複式学級を編制しております三津小学校を従前どおり平成24年度に島津小学校に再配置することとします。郷小学校につきましては、平成23年度から複式学級が編制されますが、「郷小学校再配置に関する陳情書」に対する議会の趣旨採択の議決に基づき、平成26年度に網野南小学校に再配置することとします。丹後町域は小中一貫教育の基盤整備のため、平成26年度に宇川中学校を間人中学校に再配置することとします。小学校の再配置の計画については今回の実施方針の中ではありません。弥栄町域につきましては、中学校の再配置の計画はありませんが、小学校につきましては、溝谷小学校と黒部小学校が平成26年度に複式学級の編制が見込まれること、また野間小学校はすでに複式学級を編制しておりますが、「野間小学校の統合に関わる陳情書」に対する議会のみなし採択の既決に基づきまして、この3校を平成26年度一緒に鳥取小学校に再配置することとしたいと思います。久美浜町域は小中一貫教育の基盤整備のため、高龍中学校を久美浜中学校に再配置をすることとしますが、年度につきましては、「京丹後市学校再配置基本計画（案）に関する請願書」に対する議会のみなし採択の議決に基づきまして、また、高龍中学校を久美浜中学校に再配置するためには、久美浜中学校の増築が必要なため、これから地元協議や工事等が平成24年度に再配置を行うためには、時間的に困難ということもありまして、平成25年度の再配置としたいと考えています。小学校につきましては、複式学級の解消のため平成24年度

に複式学級の編制が見込まれます川上小学校、平成25年度に複式学級の編制が見込まれる海部小学校について、また耐震化対策のために佐濃小学校、この3つの学校を高龍中学校の施設を利用し再配置しますが、年度につきましては、高龍中学校を小学校用に改築する必要があることから平成26年度の再配置としたいと考えています。また、田村小学校は平成26年から複式学級の編制が見込まれること、湊小学校につきましては既に複式学級を編制しておりますが、平成26年度に湊小学校につきましては複式学級が一旦解消になることも見込まれていますが、全体に児童数の増加は見込めない状況であることから、平成25年度に神野小学校に再配置したいと考えています。以上です。

なお、この実施方針を承認いただきましたら、後日議会にも報告させていただきたいと考えています。また、順次、区やPTAにも説明に入らせていただきたいと思いますと考えておりましたが、急ぐものにつきましては、今月から各地域に入らせていただきまして、学校づくり準備協議会の設置に向け地元との協議に入らせていただきたいと思いますと考えています。

以上よろしくご審議をお願いいたします。

<上羽委員長>

議案第1号をご説明いただきました。

ご質問、ご意見等がございましたらお願いします。

<文珠委員長職務代理者>

最初の実施方針ですが、方向性としてはいい方向性になっていると思っております。ただ1点気になるところですが、三津小と島津小の再配置です。この中で、教育委員会で地元説明会をされたことは承知しているわけですが、いろいろと意見を聞かなかで、基本的には島津小学校ということでもいいと思いますが、協議会の中で柔軟な地元の意見も聞けるんだよということをもっと前面に出していただいたほうが反対意見は出にくいかと思いません。基本的にはこれでいいと思っております。

<米田教育長>

島津小学校の場合、教育委員会のほうの方針として、最初に出したときは網野北小学校だったわけですが、地域の声というよりPTAの声が強いので、このように書きました。その後、町の長老や経験者の方からは、島津は絶対反対するという意見も聞かせていただいています。今度の議会の議決の中にも拠点校は載せておりません。けれども、教育委員会としてはPTAの大方の意見を聞いたということで、このようなかたちでいきたいと思いません。これを変えると他のところにも影響してきます。例えば、久美浜で湊小学校が久美浜小学校に行きたいという声もあります。そうすると好きなように意見が変わるのではないかということになりますので、この方針でいきながら、なお地域の中で本当にまとまったら網野北小学校というのは最終的な到着点となるわけです。ですから、こここのところは変える場合もあり得るということです。島津小にこだわらなくてはいけない理由もないと思っております。出席されたPTA全員の意見でしたので、このかたちを残しました。区長さんはこだわっておられて網野北小学校がいいということでしたが、最終的にはPTAの意見を聞いてもいいという言葉もありましたし、こちらの方も何があってもこちらという気持ちは持っていません。最終の絵はどうしても網野北小学校になるので、区の意見をしっかりまとめさせてもらいたいという話はしておきました。

<上羽委員長>

文珠委員のおっしゃっていることは私も耳に入っております、その方も、三津小が島津にきて、絶対に島津小学校を残すという強い思いでおられました。議会が決定した後お会いしましたが、結局その人はいろんなことをよく分かっておられる方で、将来は仕方がないという思いはあっても、自分たちの島津小学校を残すという当初の思いが決まったということで安堵されていました。三津小が来てくれないと困るとかいうことは二の次だというような意見を私には申しておりました。

<森委員>

弥栄町域の野間小学校は既に複式ですが、この方針についてはその地域から意見が出たのかということですか、もう少し再配置が早くはならないのですか。

<米田教育長>

野間小学校は統合をじっくり考えてくれという陳情書が、市議会でみなし採択されています。みなし採択というのは、よく似た例があったらそれにのっとってやっていきますよという意味のことです。ですから否決ではありません。ということは、つまりその方針が認められたことでもあり、この絵を見せて野間のほうで急いでくれということであれば急ぐことはできます。ここだけがすっといっても鳥取小学校を即改修しなければならないことでもないのです。計画を見せながら、あとは話し合いで早めるということは考えていくということでもあります。

<森委員>

まだ意見の動いている状態ですか。

<吉岡教育次長>

少し違います。先ほどありました議会のほうで陳情書がみなし採択になったので、その陳情書の中には全体的なことを考えて弥栄町全体で統合してほしいということがあって、それは採択になっていますので、ですから今回実施方針としては平成26年4月にしたいというかたちで提案をさせていただこうと思っています。

ただ今教育長からありましたように、実際に地元に入らせていただいて、話をする中で、年度をもう少し早くすることも改めて話の中ではしていきたいと思っていますので、地元のほうがそれでいいということであれば話を進めてローリングで見直すということも起きてくると思っています。

<小松委員>

再配置計画ということで平成26年まで4年間という中でそうされたのだと思いますけれども、4年目に集中していることです。

そうした中で、網野の三津小が平成24年の4月でぽんと一番最初に出てくる。その是非の状況によって、後の計画、全体への影響が大きく出てくると思います。そのあたりが最初に取り組んで行く学校をどのように解決させていくかによって、あるいは学校が前あがりになってくれれば有難いですが、そこが目立ってきているので、他の学校に対

する影響も出てくることが懸念されます。

〈米田教育長〉

島津小学校の平成24年というのは、以前の説明会でも仕方がないなということであり、郷小学校の場合は26年に延ばしてほしいということで26年という数字を計画の中に入れてあります。三津小の場合はやむを得ないし、行くならこういう条件でという話に進んでいましたので、複式のこともあるし、人数も少ないという中で、少しでも早く行くほうが良いということでここに入れてあります。

平成23年になるわけではありませんので、平成25年にずれ込んでも他にさほど影響も与えないことになっていますので、一応平成24年でどうかという話は進めていきたいと思っています。仮に1校でも2校でも早く実績を作っておくと、その時の教訓というのが次に活かれますので、もしそれが無いと平成25、26年が大変だろうなという気もしまして、竹野小学校の例を一つの教訓として次の再配置に活かしたいと思っています。

〈小松委員〉

それが一番、きちっと一発目をやっておかないと、後に影響が出てくるのが一番気になるところです。

〈上羽委員長〉

私は、再配置準備委員会、名称はまだ確定はしていませんが、その作るタイミングが学校の管理職の異動や区長さん方の異動などの交代期と重なり、作ってもまったく意味のなさない組織になりますので、そのようなことも考え、頭だけ揃えたらいいという委員会は絶対危険だと思います。また人選についても、どのような観点から人選して推進していくかということは、これはまた大きな地域での力だと思いますので、いろんな方面から意見を聞いた上で、誰かの推薦があったからといって安易な手法は取らないようにしていただきたい。地域がまとまる、まとまらないの分岐点になると思っていますので、慎重に立ち上げの時期、人選をやっていただきたい。他のことにつきましては、そこがきちっと機能するようになればそれなりに進んでいくのではないかと期待しております。

他にご意見はございませんか。

それではお諮りを致します。議案第1号「京丹後市学校再配置基本計画実施方針（案）について」につきまして、承認にご異議ございませんか。

〈全委員〉

異議なし。

〈上羽委員長〉

異議なしと認め、承認致します。

それでは、次の議案に入らせていただきます。

議案第2号「平成22年度京都府学校文化・芸術祭－第42回教育美術展覧会北部展覧会に係る後援について」を議題とします。

米田教育長から提案理由の説明をお願いします。

〈米田教育長〉

これについても教育次長のほうから説明いたします。

〈吉岡教育次長〉

議案第2号「平成22年度京都府学校文化・芸術祭―第42回教育美術展覧会北部展覧会に係る後援について」でございますが、この事業は府内の学校等の幼児・児童生徒の絵画等の作品を一堂に集め、発表の機会を通じてお互いに交流を深め、優れた作品に学び、創造的で心豊かな人間性の育成とふるさとの自然・文化を愛する心を育てるために開催するものです。期間は平成23年2月12日から2月14日、会場は間人小学校体育館、主催は京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府学校文化・芸術祭―教育美術展覧会北部展覧会実行委員会でありまして、申請者は第42回教育美術展覧会北部展覧会実行委員会 委員長 荻野真作氏でございます。以上後援議案について、よろしく願いいたします。

〈上羽委員長〉

議案第2号をご説明いただきました。

ご質問、ご意見等がございましたらお願いいたします。

〈上羽委員長〉

特にご意見ございませんか。

それではお諮りを致します。議案第2号「平成22年度京都府学校文化・芸術祭―第42回教育美術展覧会北部展覧会に係る後援について」につきまして、承認にご異議ございませんか。

〈全委員〉

異議なし。

〈上羽委員長〉

異議なしと認め、承認致します。

以上で本日の議事はすべて終了させていただきました。

続いて5のその他ということで、諸報告、各課報告を順次お願いしたいと思います。

(1) 諸報告

〈吉岡教育次長〉

① 「共催」・「後援」申請に係る12月期承認について

(2) 各課報告

〈教育総務課〉

① 平成23年度学校施設耐震化工事等について

〈学校教育課〉

① 1月学校行事予定について

〈社会教育課〉

- ① 第15回峰山ドッジボール大会について
 - ② 平成22年度京丹後市公民館連絡協議会第2回研修会について
 - ③ 第26回国民文化祭・京都2011文芸際 小町ろまん短歌第5回企画委員会について
 - ④ 2011ウエスタンリーグ開催実行委員会総会について
 - ⑤ 平成23年成人式について
- <文化財保護課>
- ① 小町ろまん『短歌大会』 歴史散策の計画について

<上羽委員長>

全体を通して、何かご質問がありますか。

以上で第1回京丹後市教育委員会定例会を閉会致します。ご苦勞様でした。

〈 閉会 午後1時58分 〉

[2月定例会 平成23年 2月 9日(水) 午後2時00分]